

令和6年度 決算審査特別委員会

- ◆ 決算審査特別委員会設置期間 令和7年9月12日～26日
決算審査特別委員会15人（議長・監査委員を除く議員）
◎委員長 重久昌樹
○副委員長 山中雅人
- ◆ 各分科会に分かれ、所管ごとの専門的な審査を行いました。（現地調査を含む）
総務分科会 9月16～18日（3日間）
文教厚生分科会 9月16～18日（3日間）
産業建設分科会 9月16～19日（4日間）
- ◆ 決算審査特別委員会 9月26日
- ◆ 慎重に審査した結果、9月30日の本会議において「認定すべき」と報告しました。

各会計決算額

会計名		歳入	歳出
一般会計		312億9,972万円	300億7,760万円
特別会計	国民健康保険特別会計	53億7,726万円	53億2,483万円
	後期高齢者医療特別会計	6億8,971万円	6億8,673万円
	介護保険特別会計	60億9,096万円	57億5,658万円
	生活排水処理事業特別会計	6,793万円	6,583万円
水道事業会計	収益的収支	5億8,427万円	5億6,994万円
	資本的収支	6,900万円	2億4,730万円
	資本的支出額に不足する額1億7,830万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,117万円、過年度分損益勘定留保資金1億6,713万円（減価償却費1億6,713万円）で補てんした。		
公共下水道事業会計	収益的収支	2億3,765万円	1億9,841万円
	資本的収支	1,370万円	1億1,499万円
	資本的収入額が資本的支出額に不足する額1億129万円は、当年度分損益勘定留保資金5,898万円（減価償却費5,898万円）、利益剰余金4,230万円（繰越利益剰余金4,230万円）で補てんした。		

（1万円未満切捨て。端数処理の関係で数値が合わない箇所があります。）

※収益的収支とは、施設を維持管理するための経費とその財源のことです。

資本的収支とは、施設の建設や整備・改良にかかる経費とその財源のことです。

総務分科会

問 本市の財政状況は。

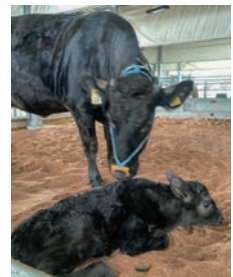
答 令和9年度から公債費の返済が30億円を超えてくるようになり、市への財政的な影響が大きくなる。令和6年度では繰上償還も実施したが、そのような対応を行いながら、今後の財政が過度に逼迫しないよう計画を検討していきたい。

問 大隅、財部にある最終処分場の状況は。

答 大隅が9年、財部が3年で容量が一杯になる。国では広域化の対応を求めていることもあり、どの自治体と協力するべきかも含めて、課内で協議している。

問 SKLV 産の牛は出荷できる状態にあるのか。

答 現在、出荷している牛は市場導入してきたものであり、純 SKLV 産とは言えない。純 SKLV 産と言えるものは令和9年3月頃からになる。これまでの出荷は実験的な要素も多いため、ブランド化して売り出すまでには至っていない。



純SKLV産となる子牛



本庁 遠隔相談室

問 オンライン窓口の利用状況は。

答 オンライン対応用の相談室があり、ここで対応している。現在は農業委員会の利用に関するものが多いが、他の部署とも繋げることは可能である。

生活排水処理事業特別会計

問 合併浄化槽の譲渡の進捗は。

答 令和4年度から令和6年度までに374基の譲渡が完了した。10年経過した譲渡対象基数は約700基であり、大隅衛生企業への引継ぎの関係で、年間譲渡数は140基が上限である。

問 過年度滞納額の回収状況は。

答 不納欠損が現在315件であるが、一般の水道と違い、浄化槽の停止などを行うと逆流を起こし住宅に被害が出るため、強制的に止めることは難しい。

意見 過年度滞納額の回収に今後も努力してほしい。



文教厚生分科会



財部温泉健康センター

問 財部温泉健康センターやメセナ住吉交流センターに関して、入浴料の引上げと今後見込まれる改修費用は。

答 近隣の都城市が420円で運営されており、仮に同金額まで引き上げた場合、財部温泉はそれでも2,218万2,000円の指定管理料が必要で、メセナ住吉交流センターは300万円の黒字となる見込みである。また、令和5年度に積算した改修費用について、財部温泉は浴室が8,000万円程度、管理棟まで含めるとおよそ3億9,000万円程度が見込まれ、メセナ住吉交流センターは大規模改修となる予定で、2億9,000万円程度が見込まれる。



学校給食センター

問 学校給食費の完全無償化が始まり、学校給食センターの稼働後から人気の揚げパンが提供されなくなった理由は。

答 新しい給食センターは連続フライヤーを使用しているが、相性が悪く、揚げパンに向いていないため。

意見 学校給食費が値上げされたとのことで、材料費も掛かっているかと思うが、子供たちが美味しいと思えるような献立と給食を工夫していただきたい。

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療制度は、各都道府県の後期高齢者医療広域連合が保険者となり、保険料の制定や医療費の支払等を行っています。

意見 令和4年10月から1割負担、3割負担に加えて、新たに2割負担が追加された制度改正について、市民に周知や理解がされていないように見受けられるので、より市民に分かりやすい形で周知するように。

介護保険特別会計

問 介護保険事業における監査の方法について。

答 介護保険法においては運営指導として、人員や設備状況等の確認を行うことで、利用者保護及び保険給付の適正化を図ることを目的として実施しており、法律上は6年ごとだが、本市では計画的に3年ごとに実施している。

意見 他自治体の事業所で不正が発覚し、認定取消となった事例もあったことから、絶対に不正をさせないための監査の在り方について研究するべき。

産業建設分科会

現地調査を実施

溝ノ口洞穴周辺整備事業
決算額：2,454 万円



溝ノ口洞穴の新しい水洗トイレ

問 消費生活相談の実績は。

答 次のとおりである。

相談内容	件数
訪問販売	22
電話勧誘販売	29
マルチ・マルチまがい	1
特定継続的役務提供	—
業務提供誘引販売	—
通信販売	68
訪問購入	9
店舗購入	28
ネガティブ・オプション	—
不明・無関係	41
その他・該当無し	1
合計	199

現地調査を実施

治山事業（大隅町建場地区）
決算額：1 億 3,679 万円



災害のために整備された法面

問 森林環境譲与税事業に関連して、基金への積立ては行わないのか。

答 基本的には積み立てずに使い切ることを目標としている。森林環境の整備のために支出するほか、条件に合致すれば他の事業にも利用できるため、令和6年度は基金を取り崩して市立図書館大隅分館の木質化に利用した。



木質化された図書館大隅分館